



看護の日

5月13日(月)～5月17日(金)、外来ホールで「看護の日」のイベントを行いました。皆さんは「看護の日」をご存じですか。「看護の日(5月12日)」は近代看護を築いたフロレンスナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。この日を含む1週間を看護週間として全国様々な場所でイベントが開催されています。三重病院でも、昨年からは副看護師長が主となりイベントを実施しています。今年度は、三重病院の看護の魅力をより多くの方に知っていただくことを目的に8つの催しを行いました。



平日開催ではありませんでしたが、受診された患者さま、入院中の患者さまやご家族など100名を超える方に参加していただきました。看護師全員参加イベントとして色々な声を集めた木のポスターは多くの方が足を止めて読んでくださっていました。このイベントを通して、看護師や三重病院の看護に興味を持っていただけたのではないかと思います。今後も当院の看護の魅力を様々な場所で発信していければと思います。(南3病棟副看護師長 益川 薫)

★三重病院の看護部各部署の紹介ポスター

★看護師全員の声

(目指したきっかけ、やっていて良かったと感じる瞬間、あるある、やっていて大変だったこと、忘れられないエピソード)

★ナイチンゲール豆知識

★長く働き続けるためのコツ(インタビュー)

★看護師の一日動画

★三重病院の看護師の白衣の変遷

★クイズ

★アイボ体験コーナー



2病棟

子どもたちの生活のひとコマ

暑い夏がやってきました。昔は、「風鈴の音をききながらうちわを扇いで…」と少しは夏を楽しめたようにも感じますが、最近の夏は危険を感じる暑さになってきています。水分補給、体温調整等をしっかりおこないながら、この暑い夏を乗り越えていきましょう。

さて、7月といえば「七夕」がありますね。2病棟でも『七夕の製作&飾りつけ会』の行事をおこないました。子どもたちは、スタッフが七夕にまつわるお話をすると興味深そうに聞いたり、数ある飾りの中から自分の作りたい飾りを作ったりと楽しそうにする姿がみられました。



そして、最後にそれぞれが短冊に願いを込めて、笹の葉に飾り付けをしました。想いのつまった笹の葉は病棟に飾られています。みんなの願いが叶いますように…。

(児童指導員 平田 真理子)

看護専門室

●病院紹介●

看護専門室には三重病院の教育研修運営に携わる教育研修係長と院内の感染対策を担う感染管理認定看護師、感染管理事務の3名が常駐し、それぞれの部門で日々活動しています。他にも、院内に所属する専門看護師や認定看護師、特定看護師が専門分野の活動を行う際に利用しています。



直接患者様、家族様と接する機会がない部門ではありますが、それぞれの専門性を発揮することで看護の質の向上につながり、結果として患者様に還元できることを目指して日々取り組んでいきます。(教育研修係長 角 雅美)